

令和 5 年度 上 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,158,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,297.26㎡ ◇延床面積:440.25㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	13,319	8,984	9,186	6,582	4,846
	移動児童館利用者数	248	283	200	122	85
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※6(3)	※10(9)	※7(5)	※5(5)	※2(1)
	開館日数(単位:日)	155	151	155	151	94

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①適正に実施している。 開館時間を17:15までとし、17:15以降15分間を館内消毒・清掃時間としコロナ対策に努めました。 ②職員3人(所長、常勤職員2人)(うち児童厚生員2人) ③エリア5校区(長森北、南、西、東、日野)の小学校児童にお便りをクラスに掲示、1年生には、利用の案内もかねて全児童に配布しました。 ・7・8月号はエリア内全児童に配布しました。 ・9月号より1校(日野小)は全児童のタブレットで閲覧できるようにお便りを配信をしていただけようになりました。 ・エリア5校区の公民館、長森コミュニティーセンターにも、お便りを設置していただきました。 ・野一色公園の掲示板、近くにあるTSUTAYAの地域の掲示板に児童センターのコーナーを作っていただき掲示をして頂きました。 ・従来のホームページに追加してInstagram(フェイスブック連動)を始めて、行事の案内や報告を掲載しました。 ・澤田新聞店(中日新聞)に取材をお願いし情報紙「長森かわら版」に「ながもりショータイム」が掲載されました。 ・野一色公園で活動されているゲートボールクラブ、長森北公民館で活動されている2サークルに、児童センターの紹介と高齢者向けの事業案内を行いました。 ④ご意見箱を常時設置し利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としています。また、苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで苦情に対し適切に対応できる体制としています。 ・児童・保護者を対象にアンケートを年間2回実施しました。(上半期は1回)ご意見箱に寄せられた苦情・意見、児童館運営委員会での意見、アンケート結果は館内に掲示するとともに、改善できるものは迅速に対応しました。 ・小学生対象に行事後に独自のアンケートを取り今興味があること、児童センターでやってほしい行事を書いてもらうことにより、今の子どもたちの要望をできる限り取り入れています。(上半期は玩具を購入したり、行事を計画しました。) ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施し再度見直しをして計画以上の事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアルにもとづき日常点検・消防用設備の点検・遊具設備及び建物点検等適切保守点検を適切に実施しました。 ②施設の清掃は、職員による日常清掃と就労継続支援B型事業所による週2回の館内清掃を実施しました。玩具等の定期的な消毒と閉館後の清掃及び玩具・遊具の消毒をし、感染防止対策を徹底しました。園内の草取りや落ち葉の清掃、花壇の手入れを行うなど環境整備にも努めました。 ③未使用の部屋の電気、エアコン等スイッチを切り、適切な温度設定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボトル及び牛乳パックなどの廃材を事業に活用するなど環境に配慮した施設運営に心がけました。 おもちゃ病院におもちゃの修理を依頼して、安全にかつ大切におもちゃを使用しました。 ④月2回の職員による施設の安全点検・遊具点検・AED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具・玩具、設備、備品の維持管理に努めました。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。利用者の安全性が確保できないものは、安全が確保されるまで利用中止としました。軽微で予算内で対応可能なものは直ちに業者へ修理を依頼しました。(網戸修繕・エアコンの水漏れ) ②建物等大規模修繕は、岐阜市社会福祉事業団事務局を通して、岐阜市へ要望を提出しました。(床・畳トイレの手洗い場の水漏れ)
危機管理法遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 ①個人情報が記載された用紙は、使用后すべてシュレッダ処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 ②災害や事故等が発生した場合には、岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。また上半期2回消防訓練を実施(8月・9月)、非常用備品の確認も同時に行い、期限の確認と不足品の補充も実施しました。マニュアルに沿った適切な対応及び消防訓練の実施をし、警察・消防への適切な対応の徹底と警備会社との連携をしています。 ・一斉県民運動「ぎふシェイクアウト」(地震発生時の身を守る訓練)を行い災害対応能力の向上を目指しました。(9月)

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間:令和5年7月22日～令和5年8月20日 回答者数:50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間:令和5年7月22日～令和5年8月15日 回答者数:50人(小学:1年7人、2年8人、3年14人、4年9人、5年7人、6年1人) (中学:1年0人、2年0人、3年0人)(高校:1年0人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 長森西(10人)、長森東(10人)、長森北(9人)、長森南(8人)、日野(3人)、厚見(2人)、華陽(2人)、その他市内(3人)、その他市外(3人) 【年齢】 10代(0%)、20代(18%)、30代(74%)、40代(8%)、50代以上(0%) 【利用頻度】 初めて(8%)、ほぼ毎日(2%)、週2～3回(18%)、週1回(24%)、2週に1回(22%)、月1回(16%)、その他(10%) 【来館相手】 子(86%)、孫(2%)、友人(7%)、その他(5%) 【子・孫の年齢】 0歳(15%)、1歳(32%)、2歳(27%)、3歳以上(26%) 【来館方法】 徒歩(15%)、自転車(0%)、自家用車(85%)、公共交通機関(0%)、その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(31%)、広報紙・チラシ(2%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(2%)、知人・友人(39%)、ぎふ子育て応援アプリ(6%)、ソーシャルメディア(6%)、その他(14%) 【評価】 (あいさつ) 満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(98%)、ほぼ満足(0%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(88%)、ほぼ満足(10%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(76%)、ほぼ満足(18%)、普通(4%)、やや不満(2%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(80%)、ほぼ満足(14%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(72%)、ほぼ満足(14%)、普通(10%)、やや不満(4%)、不満(0%) (換気) 満足(80%)、ほぼ満足(8%)、普通(12%)、やや不満(0%)、不満(0%)

	<p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 長森北小(33人)、長森西小(7人)、長森東小(2人)、長森南小(2人)、厚見小(2人)、その他市外(4人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(24%)、2年(16%)、3年(28%)、4年(16%)、5年(14%)、6年(2%) 中学: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(4%)、毎日(4%)、週4・5回(12%)、週2・3回(22%)、週1回(40%)、その他(18%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(10%)、友人(37%)、兄弟姉妹(15%)、父母(24%)、祖父母(7%)、親戚(5%)、その他(0%)、未回答(2%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(10%)、自転車(32%)、自家用車(52%)、バス・電車(0%)、その他(2%)、未回答(4%)</p> <p>【好きな遊び】 ドッジボール(25%)、パズル(17%)、ボードゲーム(15%)、ぬりえ(10%)、サッカーゲーム(10%)、カロム(7%)、シルバニア(5%)、卓球(5%)、その他(6%)</p>
<p>利用者からの 要望・苦情と 対処・改善</p>	<p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃをもう少し新しく入れ替えてもらえると嬉しいです。 A. 随時入れ替えや新しいおもちゃを入れていきます。次の購入予定もありますので、また遊びに来て頂けると嬉しいです。 ・いつもありがとうございます。トイレがもう少し使いやすくして明るい嬉しいです。 A. 明るくできるよう、検討いたします。 ・園児向けのイベント(ワークショップ、お祭りなど)がもう少したくさんあると嬉しいなと思いました。 A. 今年度はお祭り、イベントの回数を増やし活動しています。是非たくさん参加していただきたいと思います。 ・おもちゃ図書館の方にも、スプーン・フォークのおもちゃを入れて頂けると子供も喜ぶかなと思います。 A. 随時購入していきたいと思います。 ・年長までの部屋にあったジャンглジムがなくなってさみしいです。おがたのおもちゃがあると嬉しいです。ピング大会や工作も楽しく参加させてもらっています。帰省の度に孫が長森児童センターのことを「ぎふようちえんに行く」と楽しみにしています。楽しい空間をありがとうございます。 A. いつもご利用ありがとうございます。大型の遊具は安全面も考え、今後設置を検討していきたいと思います。 ・いつも子どもたちが楽しく過ごせていてとても助かっています。なかなか小学生があそべるスペースだったり、おもちゃがある児童館がないので、あそびの要求が違う兄弟でも一緒にあそべて満足しています。今後、軽食をたべれるスペースや時間が少しでもあれば嬉しいです。 A. 軽食については衛生面によりお受けできません。ご理解とご協力をお願いいたします。 <p><児童></p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブを増やしてほしい A. 新しいクラブができるように考えていきます。 ・仮装パーティー A. できる範囲で、イベントの一部で考えていきます。 ・おかしがたべたい A. 衛生管理のため、お菓子などは食べないようにしています。 ・さいこう A. ありがとうございます

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	SS	S	S
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	SS	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	S	S	S
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	SS	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

□広範での情報提供・広報活動(公平性①②効果性③④⑤⑥効率性⑨貢献性⑭)
 ・お便りの掲示の仕方の工夫をして、児童センターのおたよりと、他館を区別して分かりやすくまとめました。
 ・インスタグラムを導入するとともに同時にフェイスブックも連動させることでそれぞれの利用者に情報を提供できるようにしました。(上半期更新回数88回インスタグラムのいいねが650件)
 ・野一色公園で活動されているゲートボールクラブや公民館の2サークルに児童センターの紹介を兼ね高齢者行事の案内・ボランティアの募集をしました。どなたも児童センターを知らなかったため、長森の老人クラブの会長を紹介していただき、6団体にチラシを配布して頂きました。いくつかの行事を行うことで高齢者との関係を築くことができました。そこで今年度後期に3世帯交流などの行事を計画しています。
 ・高齢者にボランティアを呼び掛けたところ、「足つぼとフラダンス」「英語」(後期に延期)「庭木の手入れ」に来ていただけています。
 ・野一色公園・TSUTAYAにお願いして、児童センター利用の案内やおたよりの掲示を依頼しました。
 ・澤田新聞店(中日新聞)に取材を依頼して情報誌「長森かわら版」9月号に『ながもりショータイム』が掲載されました。子どもたちは写真に自分たちが写っていたことでとても喜んでいました。
 ・前年度よりエリア5小学校にお便りの配布・掲示を行っていなかったため、毎月掲示、配布を開始しました。運営委員会より野小学校長より学校からデーター配信の協力の申し出があったので9月から開始し、それに続き4小学校も10月よりデーター配信に移行していただけました。エリア全児童の家庭でお便りが見ることができるようになりました。
 □地域とのつながり(貢献性⑭⑮)
 ・地域にある施設とのつながりを持つために、それぞれと一緒に行事を行えるように企画を持ち込み、行事として形にすることができました。長森北保育所(保育所でおまつり)長森中学校(行事のボランティア)(乳幼児とのふれあい)(中学生のフリースペースとして場所の提供)、岐阜東中等学校(乳幼児とのふれあい)、岐阜県衛生専門学校(ボランティアの受け入れ)、それぞれに後期も計画を立てて交流をしていきます。このような連携を取ることで、お互いに協力し合う体制づくりにもつながりました。長森保育所(保育研修会の会場として児童センターの場所を提供)岐阜県衛生専門学校(後期に休日の駐車場の借用依頼)等良好な関係を築くことができています。
 □新規事業(公平性①効果性③④⑤⑥効率性⑨安定性⑩貢献性⑭)
 職員による新規事業
 ・月に1回パパと一緒に遊ぶ『パパとなかよし』を行いました。当日来館されているパパ同伴でない親子にも声をかけて参加して頂きました。その時は小学生にもボランティアとして参加を呼びかけています。
 ・『小学生による大人のぬりえクラブ』(年間10回コース上半期4回)の月1回の継続して行うクラブを職員が担当して行いました。大人用の細かいぬりえを小学生が塗るのですが、大人の方のクラブかと勘違いされる方もあり、多くの問い合わせがありました。またクラブの様子を見て「来年は必ず入りたい」「入らせたい」「大人も参加したい」と話している方もあり大好評でした。
 ・毎月第4日曜にみんなの前で得意なことを披露する「ながもりショータイム」を行っています。初めから「やりたい!」という子、反対に人に見てもらうのは「恥ずかしい!」と反応は様々でしたが、いざ開催すると丁寧な口調に変えて話をする姿に驚きました。また自分の出番以外には他の子の発表を見て盛り上げていました。当日その場でやりたくなる子もいます。そんな飛び入り参加も受け入れて柔軟な対応をすることで、その子のやる気を大切にしています。
 講師をお呼びしての新規事業
 ・講演会(心のおまもり作り・笑って子育てしていますか)、音楽で遊ぼう、絵本の読み聞かせ、手品の会、親子ピクス、遊びを通して運動遊び、リトミック・骨盤体操など、親子で楽しめる内容や保護者がリフレッシュして、元気になる内容などを幅広い講師をお呼びして行いました。親子で体を動かすものは人気で、特にリトミックや骨盤体操は定員に達するのが早いので、回数を増やして初めての方を優先に参加をして頂くようにしました。
 ・チェスクラブ(4回コース)は基本の動かし方から試合ができるまでをわかりやすく解説して頂きました。保護者の中で「家族でできるように自分も一緒に覚えたい。」と言われる方の要望に答えました。(親子参加4名)クラブ終了時間を過ぎて楽しむ姿が見られ、親子で参加できたことを喜ばれていました。普段の遊びの中にもチェスを楽しむ子どもたちが増えました。
 無料講師の依頼
 ・岐阜市のお出前講座(悪徳商法・段ボールコンポスト)や保健師による腰痛講座、プチ講座(心のおまもり)総合体育館の講師による運動遊び、音楽療法士による歌って笑っていつも青春、地域のボランティアによるフラダンス、(英会話は後期)レクリエーション協会のインストラクターによる幼児向け・小学生向け運動遊び、岐阜市レクリエーション協会の道具のレンタルなどを活用して経費を使わず、幅広い行事を行いました。
 乳幼児とのふれあい
 ・長森中学校、岐阜東中学・高等学校の先生に協力をして頂き、全校に参加を呼びかけて、中高生が乳幼児親子と交流する「乳幼児とのふれあい」を行いました。事前の準備にも参加してくれる生徒もありました。当日は、ペアになった家族と交流して小さい子をあやしたり、抱っこする姿がありました。終了後の感想に「参加してよかった。事前に自分が小さかった時のことを聞いてきた。初めて小さい子を抱っこした。」などがありました。また保護者の中には、生まれた時の手形、育児日記、写真などを見せて子育ての楽しさや大変さを話していただけた方もありました。予定の時間を超えるほど盛況でした。
 高齢者とのつながりからボランティアの発掘、3世帯交流に向けて
 ・長森の老人クラブの会長を紹介していただき地域の高齢者に声をかけていただく体制を取りました。健康講座(腰痛予防)・消費者講座(消費トラブルを防ぐために)歌って笑っていつも青春(みんなで歌う会)など高齢者を中心にした行事を行いました。また同時にボランティアを呼びかけたところ、(足つぼとフラダンス)(英語クラブは後期に延期)(庭木の手入れ)をやっていた方がありました。高齢者とのつながりができたので、後期に3世帯交流会を行うよう進めています。
 □ボランティア育成(効果性③、貢献性⑭)
 ・夏休みのお祭りのスタッフを募集したら、準備や当日の手伝いに20名の希望者がありました。自主的に手伝いに来てそれぞれにできることをやってくれました。その流れで、幼児のおまつりごっこや保育所で行ったおまつりなどにも進んで参加し、回を重ねる毎に積極的に動けたり、声も大きく出せるようになりました。
 ・中学生で継続して行事のボランティアに来てくれる子がいます。子どもたちからも慕われ、進行や、記録、制作など進んでやってくれています。小学生もその姿を見て今後繋がりやすいようにサポートしていきます。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□子どもたちがボランティアをすることで生きがいを感じることもあると思う。成人になるにつれて、地域とのつながりがどんどん減っていく時代なので、こういった取組みが広がっていくとよいと思う。</p> <p>・夏休みのお祭りのスタッフ、幼児クラブのお祭りごっこ、保育園のおまつりなど、結果がすぐに出るやりがいのあるボランティアの提供ができる行事を進んで取り入れました。初めは、恥ずかしがって動きが小さかった子ども、回を重ねるごとに、楽しさが加わりみんなと元気に楽しめるような変化がその子その子にありました。その都度感想を書いてもらったが、どの子どももまたやりたいと意欲的なことが書かれ、次は秋祭りをやろうよと子どもたちからも要望されました。それで後期には秋祭りを予定に入れました。</p> <p>□善行表彰の推薦が児童センターから出るのなかなかないので、地域ぐるみの取組みができているのだと評価できる。大きくなった子供が大人になって戻ってくることも期待できる。</p> <p>・前年度の子は受験という事で回数は減りましたが、時々来てくれます。今年度も新たに一人主に土曜日の行事にボランティアとして、進行、記録、制作などを、進んで行ってくれる子がいます。その姿を小学生は見ています。次につながっていけるように育てていきたいと思います。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□SNSの充実</p> <p>・ホームページインスタグラム・フェイスブックの今まで以上の充実に加え、LINEを取り入れて、クラブの出欠や行事の連絡ができるような利便性を重視した活用を目指します。</p> <p>□ボランティアの充実</p> <p>・小学生から大人まで幅広い世代までの方に児童センターの企画・運営に携わって頂けるように地域の中から人材確保を目指します。</p> <p>□地域組織との連携</p> <p>・地域にある各団体との連携を深めて、児童センターとしてできることを増やしていきます。</p>

●所管課の意見

○近隣の公園に出向き、地元住民に児童センターでの活動を紹介したり、地元の情報誌に取材を依頼し、行事を掲載してもらうなど、積極的に広報活動を行い、児童センターの活動周知に努めている。

○地元住民の特技を活かした講座を実施したり、専門的な講師に依頼し、専門性の高い事業を実施するなど多種多様な新規事業を実施している。

○今まで専門業者に依頼していた草刈を職員自らが定期的の実施したり、ふれあい花壇の制度を利用して環境整備するなど、経費縮減に努めている。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。